



平成29年6月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月9日

上場取引所 東

上場会社名 北川精機株式会社

コード番号 6327 URL <http://www.kitagawaseiki.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 内田 雅敏

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員財務部長

(氏名) 小林 由和

TEL 0847-40-1200

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 (投資家・アナリスト)

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年6月期第2四半期の連結業績(平成28年7月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年6月期第2四半期	1,492	27.8	103	—	100	—	124	—
28年6月期第2四半期	1,167	△47.0	△72	—	△114	—	△82	—

(注) 包括利益 29年6月期第2四半期 122百万円 (—%) 28年6月期第2四半期 △106百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年6月期第2四半期	17.86	17.05
28年6月期第2四半期	△11.83	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
29年6月期第2四半期	6,673	1,157	13.5	129.78
28年6月期	5,919	1,037	13.0	110.60

(参考) 自己資本 29年6月期第2四半期 902百万円 28年6月期 769百万円

2. 配当の状況

	年間配当金					合計
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末		
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年6月期	—	0.00	—	0.00	0.00	0.00
29年6月期	—	0.00	—	—	—	—
29年6月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00	0.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年6月期の連結業績予想(平成28年7月1日～平成29年6月30日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	4,700	31.4	280	405.0	200	—	180	—	25.87

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、【添付資料】3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に係る事項(2)四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年6月期2Q	6,959,600 株	28年6月期	6,959,600 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年6月期2Q	1,796 株	28年6月期	1,796 株
----------	---------	--------	---------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年6月期2Q	6,957,804 株	28年6月期2Q	6,957,804 株
----------	-------------	----------	-------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であります。なお、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期連結財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績予想は、本資料発表日時点において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。なお、業績予想に関する事項は、【添付資料】2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報（注記事項）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、為替が急激な円高進行となったものの、米大統領選挙後に円安・株高へ転換したことも加わり、緩やかな回復基調で推移しました。世界経済は、中国を始めとする新興国経済の減速や米国新政権の政策に関する不確実性の高まり等、先行き不透明な状況が続きました。

このような状況のもと当社グループは、2年目を迎えた中期経営計画「新領域へのチャレンジ～新たなKITA GAWAの確立～」に基づき、3つの重点項目「真空プレス技術の新分野・新市場への拡大・浸透」「収益力強化と価格競争力向上による強固な経営基盤の確立」「活力溢れる組織の実現」に積極的に取り組み、経営基盤の強化を図るとともに、今後の大きな飛躍への土台造りとして、新領域へもチャレンジしております。

この結果、当第2四半期連結累計期間の連結業績は、売上高1,492百万円（前年同四半期比27.8%増）、営業利益103百万円（前年同四半期は72百万円の損失）、経常利益100百万円（前年同四半期は114百万円の損失）、親会社株主に帰属する四半期純利益124百万円（前年同四半期は82百万円の損失）となりました。

なお、当社グループは、主要製品が個別受注生産によるため、製品の納期・受注金額にバラツキがあり、大型案件になるほど売上までに相当期間を要し、月単位での売上高が大きく変動するという特徴があります。

セグメントの業績は次のとおりであります。

(産業機械事業)

主要製品はタブレット・スマートフォン端末関連企業向けプリント基板成形用プレス装置ですが、自動車部品製造・樹脂成形装置等においても営業を強化したことにより、多様な受注を国内外共に獲得することができました。このため、工場の稼働率が高水準で推移し生産性が向上しました。また、引き続き原価管理の徹底と経費削減にも努めたため、売上高1,078百万円（前年同四半期比18.3%増）、営業利益118百万円（前年同四半期は25百万円の損失）となりました。

(建材機械事業)

前連結会計年度と同様に、合板プレス・合板機械の大型案件の売上が第4四半期連結会計期間に集中しておりますが、海外向け大型案件を売上したこと等から、売上高329百万円（前年同四半期比120.1%増）、営業損失19百万円（前年同四半期は55百万円の損失）となりました。

(その他)

油圧機器の主要販売先への売上が一時的に減少したことと、内部売上の比率が増加したため、売上高85百万円（前年同四半期比19.9%減）、営業利益6百万円（前年同四半期比40.9%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

① 資産、負債及び純資産の状況

(資産)

当第2四半期連結会計期間末の総資産は6,673百万円となり、前連結会計年度末に比べて753百万円の増加となりました。増加の主なものは、仕掛品757百万円、建物及び構築物（純額）176百万円、減少の主なものは、受取手形及び売掛金118百万円であります。

(負債)

負債は5,516百万円となり、前連結会計年度末に比べて633百万円の増加となりました。増加の主なものは、支払手形及び買掛金359百万円、前受金491百万円、減少の主なものは、長期借入金106百万円によるものであります。

(純資産)

非支配株主持分を含めた純資産は1,157百万円となり、前連結会計年度末に比べて119百万円の増加となりました。これは主に、親会社株主に帰属する四半期純利益124百万円によるものであります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は1,384百万円となり、前連結会計年度末に比べ83百万円の減少となりました。当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果、獲得した資金は185百万円（前年同四半期は135百万円の獲得）となりました。収入の主なものは、税金等調整前四半期純利益110百万円、売上債権の減少119百万円、仕入債務の増加359百万円、前受金の増加491百万円、支出の主なものは、たな卸資産の増加797百万円によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果、使用した資金は175百万円(前年同四半期は5百万円の使用)となりました。これは主に、有形固定資産の取得による支出168百万円によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果、使用した資金は114百万円(前年同四半期は314百万円の使用)となりました。これは主に、長期借入金の返済による支出131百万円であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

産業機械事業につきましては、計画していた売上の一部が第3四半期にずれ込んだことと、第3四半期以降に大型案件の売上が集中しております。建材機械事業につきましては、第4四半期会計期間に売上が集中しております。

このため、平成29年6月期通期の連結業績予想につきましては、平成28年8月19日公表の業績予想を変更しておりません。

なお、業績予想に関して修正の必要が生じた場合は、速やかに開示します。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

(4) 追加情報

繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針の適用

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日)を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,470,617	1,387,010
受取手形及び売掛金	1,417,933	1,299,021
商品及び製品	2,050	53,369
仕掛品	426,870	1,183,906
原材料及び貯蔵品	153,638	142,799
その他	56,682	104,285
貸倒引当金	△7,535	△7,424
流動資産合計	3,520,257	4,162,968
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	476,678	653,200
土地	1,456,889	1,456,889
その他(純額)	229,205	166,736
有形固定資産合計	2,162,773	2,276,826
無形固定資産	14,013	12,090
投資その他の資産		
その他	268,616	253,023
貸倒引当金	△45,789	△31,119
投資その他の資産合計	222,826	221,904
固定資産合計	2,399,613	2,510,820
資産合計	5,919,871	6,673,789
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	934,754	1,293,883
短期借入金	2,439,717	2,459,898
未払法人税等	10,117	7,572
前受金	124,511	615,935
賞与引当金	28,448	29,052
役員賞与引当金	8,000	4,800
製品保証引当金	33,144	35,559
受注損失引当金	28	820
工場移転損失引当金	30,206	—
その他	479,736	382,365
流動負債合計	4,088,664	4,829,886
固定負債		
長期借入金	399,068	292,186
役員退職慰労引当金	42,233	33,006
退職給付に係る負債	326,546	335,320
その他	25,701	25,751
固定負債合計	793,550	686,265
負債合計	4,882,214	5,516,151

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年6月30日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,250,830	1,250,830
資本剰余金	1,256,565	1,256,565
利益剰余金	△1,735,879	△1,611,639
自己株式	△1,094	△1,094
株主資本合計	770,421	894,660
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△5,050	916
為替換算調整勘定	4,150	7,401
その他の包括利益累計額合計	△899	8,317
新株予約権	4,140	4,140
非支配株主持分	263,995	250,519
純資産合計	1,037,656	1,157,637
負債純資産合計	5,919,871	6,673,789

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
 (四半期連結損益計算書)
 (第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
売上高	1,167,562	1,492,525
売上原価	903,514	1,055,715
売上総利益	264,047	436,810
販売費及び一般管理費	336,632	333,041
営業利益又は営業損失(△)	△72,585	103,768
営業外収益		
受取利息	230	173
受取配当金	881	449
為替差益	—	33,467
その他	8,013	6,023
営業外収益合計	9,125	40,114
営業外費用		
支払利息	29,416	23,764
遊休資産諸費用	14,559	5,476
固定資産除却損	0	13,697
その他	6,794	330
営業外費用合計	50,770	43,268
経常利益又は経常損失(△)	△114,230	100,614
特別利益		
投資有価証券売却益	117	—
受取保険金	715	9,946
特別利益合計	833	9,946
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,396	110,561
法人税等	△10,890	△2,802
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,506	113,363
非支配株主に帰属する四半期純損失(△)	△20,164	△10,875
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	△82,342	124,239

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△102,506	113,363
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△388	5,966
為替換算調整勘定	△3,250	3,251
その他の包括利益合計	△3,638	9,217
四半期包括利益	△106,145	122,581
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	△85,981	133,457
非支配株主に係る四半期包括利益	△20,164	△10,875

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成27年7月1日 至平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成28年7月1日 至平成28年12月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△113,396	110,561
減価償却費	51,983	38,030
賞与引当金の増減額(△は減少)	2,740	603
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△4,500	△3,200
退職給付に係る負債の増減額(△は減少)	△2,261	8,774
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△502	△9,226
製品保証引当金の増減額(△は減少)	△10,721	2,415
受注損失引当金の増減額(△は減少)	9,427	791
工場移転損失引当金の増減額(△は減少)	—	△30,206
貸倒引当金の増減額(△は減少)	△4,638	△14,781
受取利息及び受取配当金	△1,112	△623
支払利息	29,416	23,764
為替差損益(△は益)	833	△17,022
固定資産除却損	0	13,697
受取保険金	△715	△9,946
投資有価証券売却損益(△は益)	△117	—
売上債権の増減額(△は増加)	690,404	119,421
たな卸資産の増減額(△は増加)	△373,431	△797,008
仕入債務の増減額(△は減少)	△68,881	359,102
前渡金の増減額(△は増加)	△7,385	△6,336
前受金の増減額(△は減少)	118,425	491,004
未払金の増減額(△は減少)	△65,690	△47,328
未払費用の増減額(△は減少)	△16,299	△24,107
未収消費税等の増減額(△は増加)	△14,021	△39,285
その他	△6,179	45,159
小計	213,375	214,250
利息及び配当金の受取額	1,112	623
利息の支払額	△29,403	△23,793
受取保険金の受取額	715	9,946
損害賠償金の支払額	—	△10,063
法人税等の支払額	△50,128	△5,422
営業活動によるキャッシュ・フロー	135,671	185,542
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△6,300	△6,300
定期預金の払戻による収入	6,000	6,000
有形固定資産の取得による支出	△2,120	△168,087
有形固定資産の売却による収入	14,010	95
無形固定資産の取得による支出	△9,294	—
投資有価証券の取得による支出	△951	△979
投資有価証券の売却による収入	183	—
保険積立金の積立による支出	△6,907	△6,906
その他の支出	—	△100
その他の収入	—	793
投資活動によるキャッシュ・フロー	△5,378	△175,485

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成27年7月1日 至 平成27年12月31日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成28年7月1日 至 平成28年12月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△169,273	20,181
長期借入れによる収入	100,000	—
長期借入金の返済による支出	△238,477	△131,854
リース債務の返済による支出	△364	—
非支配株主への配当金の支払額	△6,500	△2,600
財務活動によるキャッシュ・フロー	△314,615	△114,273
現金及び現金同等物に係る換算差額	△2,664	20,608
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△186,987	△83,607
現金及び現金同等物の期首残高	1,211,284	1,467,617
現金及び現金同等物の四半期末残高	1,024,297	1,384,010

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

- I 前第2四半期連結累計期間(自平成27年7月1日至平成27年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業機械 事業	建材機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	911,589	149,622	1,061,211	106,350	1,167,562	—	1,167,562
セグメント間の内部 売上高又は振替高	167	—	167	13,596	13,763	△13,763	—
計	911,756	149,622	1,061,378	119,946	1,181,325	△13,763	1,167,562
セグメント利益又は損失(△)	△25,440	△55,752	△81,193	11,105	△70,087	△2,497	△72,585

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

- II 当第2四半期連結累計期間(自平成28年7月1日至平成28年12月31日)
報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント			その他 (注)1	合 計	調整額 (注)2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注)3
	産業機械 事業	建材機械 事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	1,078,068	329,317	1,407,385	85,140	1,492,525	—	1,492,525
セグメント間の内部 売上高又は振替高	24	—	24	21,744	21,768	△21,768	—
計	1,078,092	329,317	1,407,409	106,884	1,514,294	△21,768	1,492,525
セグメント利益又は損失(△)	118,141	△19,066	99,075	6,563	105,638	△1,870	103,768

(注)1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、油圧機器等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、主にセグメント間取引の消去であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。